



# 夏期研修会のご案内

研修内容（要旨は裏面）

2019年8月3日(土)

10:00～13:00 同席面接から家族合同面接へ  
—考え方と実習—

東北大学名誉教授 日本家族カウンセリング協会理事長 長谷川 啓三 先生

14:00～17:00 ねじめの家族

作家・詩人 ねじめ 正一 先生

2019年8月4日(日)

10:00～13:00 発達障害グレーゾーンの人たち  
—その支援を考える—

「発達障害グレーゾーン」著者 姫野 桂 先生  
(フリーライター)

14:00～17:00 LGBTの現状と課題  
—家族支援を視野に入れて—

国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部室長 釜野 さおり 先生

本研修は、家族心理士・家族相談士の継続研修実績（3時間1P）の対象となります。

●会 場 日本女子大学教育文化振興 桜楓会桜楓2号館 4階ホール  
文京区目白台1-16-7 TEL.03-3942-6090

●定 員 120名

●申込み締切り 7月24日(水)

●参加費

	締切り前の振込(税込)	締切り後の振込(税込)	一日のみ参加(税込)
協会員	19,440円	20,520円	各日 10,800円
一般	23,760円	24,840円	各日 12,960円

※日本家族心理学会会員、学生、院生は会員と同額にします ※参加費は一日単位となります

**NPO法人 日本家族カウンセリング協会**

東京都杉並区梅里 2-40-16 ビラージュ白井 7F

TEL) 03-3316-1955 FAX) 03-3316-1956 URL) <http://www.j-f-c-a.org>

本研修会は(一社)家族心理士・家族相談士資格認定機構が定める継続研修実績\*の対象となりますので、有資格者の方全員に案内しております。

\*継続研修実績評価細則第2条(2) b. ワークショップ・研修会 (受講者: 3時間につき1P)

## プログラムの内容

### ■8月3日(土) 10:00~13:00

同席面接から家族合同面接へ

—考え方と実習—

長谷川 啓三 (はせがわ けいぞう) 先生

あるクライアントの個人面接の過程で、関係者からの情報をどうしても得たいときに、例えば「次回はお父さまにも同席いただき、お力をいただきたい」ということがあります。これが“同席面接”のプリミティブな形です。家族カウンセリングは、こんな形から始まり、1980年代には、一見似てはいますが、面接の目的も方法も違う洗練されたものになりました。“家族合同面接”です。本日は、その合同面接の生誕時にまで遡り、体験的な実習をやってみようと思っています。

《プロフィール》大阪生まれ。東北大学大学院博士課程修了。相山女学園大学、東北大学教授を歴任。教育学博士、家族心理士、臨床心理士。当協会理事長、日本家族心理学会理事、米国 Mental Research Institute (家族療法の発祥地) 日本代表、日本笑い学会創設36人衆。主著:「ソリューション・バンク プリーセラピーの哲学と新展開」(金子書房)、共著:「新版よくわかる! 短期療法ガイドブック」(金剛出版)。

### ■8月3日(土) 14:00~17:00

ねじめの家族

ねじめ 正一 (ねじめ しょういち) 先生

【企画趣旨】この度は、協会と同じ阿佐ヶ谷ご在住のご著名な詩人で直木賞作家のねじめ正一先生に、私たち 家族カウンセリング夏期研修の講師をお引き受け頂きました。企画の発端は、先生が庄野真代さんとのあるインタビューで「今後は 家族をしっかり描きたい」ということを、おっしゃっていたことです。それは、人と人との関係性をじっくり観察し表現なさる文学者としてのあり方と、表現の道具である ことば に対するスタンスを知り、私たちカウンセラーのスタンスとの異同を考へみることであります。先生のご講演後に家族カウンセラーとの対談が実現出来ればと考えています。

《プロフィール》1948年東京生まれ。1981年処女詩集『ふ』で詩壇の芥川賞といわれる「H氏賞」を受賞。1989年、初めて手がけた小説「高円寺純情商店街」で直木賞受賞。2008年 小説「荒地の恋」で第3回中央公論文学賞、09年 小説「商人(あきんど)」で第3回舟橋聖一文学賞を受賞。著書:小説\*「認知の母にキッスされ」中央文庫、\*「二十三年介護」新潮文庫、「長崎少年」、絵本「かあさんになったあーちゃん」、「そらとぶこくぼん」、「猫の恋」、エッセイ集「おふくろ八十六、おれ還暦」など著書多数。

### ■8月4日(日) 10:00~13:00

発達障害グレーゾーンの人たち —その支援を考へる—

姫野 桂(ひめの けい) 先生

「子供の頃から、なぜか友だちの輪に入ることができなかった」、「社会に出たらミスばかりでいつも悩んでいる」、「同僚との雑談が苦手で」空気が読めない人」といわれてしまう。こんな悩みの原因が実は発達障害にあるのかもしれないと自分を疑う人が増えています。そして、私自身、発達障害当事者の一人です。発達障害当事者への取材を進めるにあたり「発達障害の傾向はあるけれど診断は降りない」という方がかなりの数いることが判明しました。発達障害はここからここまでが障害で、ここから先が健常者という線引きがないので 傾向があるにもかかわらず診断が降りなかった人は、いわゆる「グレーゾーン」と呼ばれる人々です。取材を通して見えてきた、ジャーナリズム面の視点から、日頃、家族臨床家として、生きづらい人たちの支援に努めている皆様に、グレーゾーンとして生きる人達のナマの姿をお伝えし、その理解と支援のあり方をご一緒に考えたいと思います。

《プロフィール》フリーライター、1987年生まれ。宮崎市出身。日本女子大学文学部日本文学科卒。大学時代は出版社でアルバイトをし、編集業務を学ぶ。卒業後は一般企業に就職。25歳のときにライターに転身。現在は週刊誌や Webなどで執筆中。専門は性、社会問題、生きづらさ、猫が好き過ぎて愛玩動物飼養管理士2級を取得。著書:「私たちは生きづらさを抱えている 発達症がじゃない人に伝えたい当事者の本音」(イースト・プレス)、\*「発達障害グレーゾーン」(扶桑社新書)

### ■8月4日(日) 14:00~17:00

LGBTの現状と課題 —家族支援を視野に入れて—

釜野 さおり (かまの さおり) 先生

性的指向のあり方におけるマイノリティである「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル」ならびに性自認のあり方におけるマイノリティである、「トランスジェンダー」の総称である「LGBT」が、日本社会においてどのように扱われているのか、また「当事者」の日常生活はどのような状況にあるのかを、社会学や人口学の研究結果を交えながら概観し、職場、教育現場、医療現場において、また、家族においてどのような支援が必要かを受講者とともに探る。

《プロフィール》スタンフォード大学大学院社会学研究科博士課程修了(Ph.D)。専門分野は、家族社会学、ジェンダー・セクシュアリティなど。著書・論文:「性愛の多様性と家族の多様性—レズビアン家族・ゲイ家族」(牟田和恵(編))『家族を超える社会学』新曜社、2009、148-171)、「Common Family Boundaries: Changes and Determinants of Married Women's Perception」『人口問題研究』72(2): 53-72 (2016)。近年は、性的指向・性自認や同性カップル世帯を社会調査でどのように捉えるのかを探りつつ、性にかかわる不平等、不均衡を分析する研究や、同性カップルの聞き取り調査を通じて、ジェンダー・異性愛規範の再生産と変容過程の研究を進めている。

・プロフィール中の著書名に\*がついたものを当日頒布します。

#### □ 申込み方法 参加費のお支払いをもって申込みとします。

※ 同送もしくは郵便局備え付の振込用紙にて下記必要事項を記入し参加費をお振込みください。

通信欄記入:①参加日 ②お弁当予約(希望者のみ1食800円) ③会員/一般(学会員、学生・院生の方はその旨明記) ④職業(一般の方のみ) ⑤資格(家族相談士、家族支援士、家族心理士) ⑥お名前 ⑦ご住所 ⑧連絡先を明記ください。

※ 参加費受領確認後、受講票をお送りします当日お持ちください(お振込後、10日過ぎても受講票が届かない場合は協会事務局までお問い合わせください)。

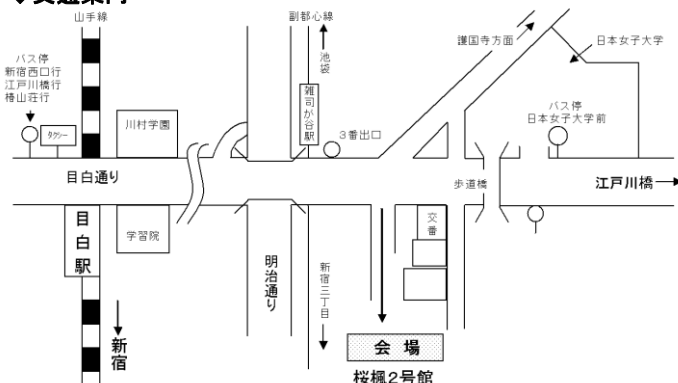
※ 締切日以降の申込みは申込状況をお問い合わせください。

※ キャンセルは、申込み締切日までは参加費全額返金開催日前日までは半額返金。但し事務手数料1000円と振込手数料分を差し引かせていただきます。連絡なく欠席の場合は返金いたしません。

#### □ 振込先

郵便振替口座 No.00130-8-352278  
加入者名 日本家族カウンセリング協会研修会

#### ◆ 交通案内



- ・JR山手線 目白駅 徒歩 20分
- ・目白駅前よりバス 約5分(新宿西口・椿山荘行き 都バス(白61) 日本女子大前下車)
- ・東京メトロ副都心線 雑司が谷駅(3番出口) 徒歩 8分
- ・東京メトロ有楽町線 護国寺駅(4番出口) 徒歩 15分

